

令和6年度

市政モニターアンケート調査結果
【 就労実態について 】



長 崎 市
産業雇用政策課

1. 調査の目的

コロナ禍を経て、経済活動が活発化する中で、人手不足は全国的な課題となっており、特に大幅な人口減少に加え、少子高齢化が続く長崎市においては、深刻な状況にあります。

そのような中、経済再生に向けた人的基盤を整えるという観点から、必要な人材の確保・育成、多様な人材の活用、また、生産性向上に向けた省人化・省略化などの課題に対応していくことが求められます。

そこで、就労実態の現状や潜在労働者が求めるニーズなどを把握し、今後の事業検討に資するために調査を行いました。

2. 調査の概要

調査期間：令和6年7月29日 ～ 令和6年8月13日

送付数：270人

回答率：93.0% (251人)

(郵送回答 156人 インターネット回答 95人)

3. 調査結果

【市内企業の認知について】

長崎市内の企業について、20代における半数以上の人及び30代における42.4%の人が「10社未満」と回答しており、市内企業の情報が若い方へ十分に伝わっていないことが分かりました。

【求職活動状況・就労意欲について】

現在「就労していない」と回答した人のうち、30.7%の方が「求職活動をしていないが、働く意欲がある」として、潜在的な労働意欲のある人がいることがわかりました。

また、希望する就労形態については、20代の方において、「正規雇用」を希望すると回答された方がすべてを占める一方で、ほかの年代の方においては、必ずしも「正規雇用」を希望していない現状を把握することができました。

【今後のキャリアプランについて】

全体で見ても約70%の人が「定年まで勤める」と回答していることから、現に勤められている企業で継続して働く意向の方が多い状況であることがわかりました。

また、30代において、約半数の方が「直近1年以内に転職する予定がある」「未定だが、転職を検討している」と回答していることから、転職の意識が特に

高い年代であることがわかりました。

【リスキングについて】

20代及び30代においては、リスキングに「興味がない」との回答がすべてを占める一方で、40代及び50代においては、「興味があるが、まだ手を付けられていない」との回答が約15%に上り、60代と70代においては、実際に学習を行っている方がいることがわかりました。

4. 調査結果の見方

調査結果の数字は、百分率で表記しているものがあり、百分率の値は、小数点以下第2位を四捨五入して、小数点第1位まで表記しています。そのため、内訳を合計しても100パーセントに合致しない場合があります。

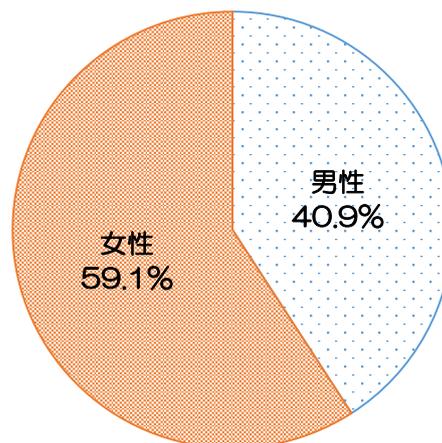
また、複数回答可とした設問においては、合計が100パーセントを上回る場合があります。

なお、回答者数の異なる間については、回答者の数を「N=〇〇人」で表現しています。

問1 あなたの性別をお答えください。

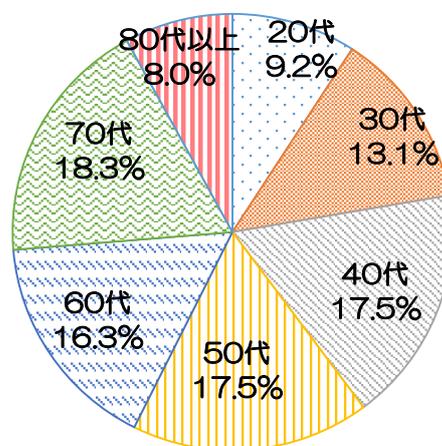
選択肢	回答者数	割合
男性	101人	40.9%
女性	146人	59.1%
合計	247人	100.0%

(無回答 4人)



問2 あなたの年齢を選択してください。

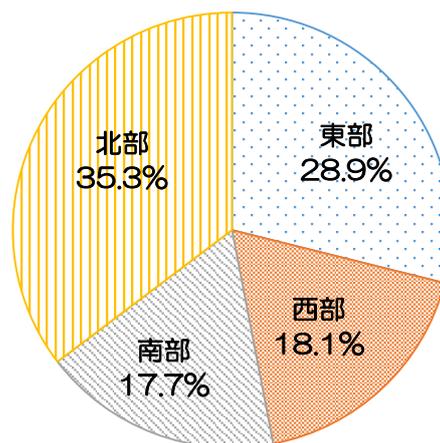
選択肢	回答者数	割合
20代	23人	9.2%
30代	33人	13.1%
40代	44人	17.5%
50代	44人	17.5%
60代	41人	16.3%
70代	46人	18.3%
80代以上	20人	8.0%
合計	251人	100.0%



問3 お住まいの町名を教えてください。

選択肢	回答者数	割合
東部	72人	28.9%
西部	45人	18.1%
南部	44人	17.7%
北部	88人	35.3%
合計	249人	100.0%

(無回答 2人)

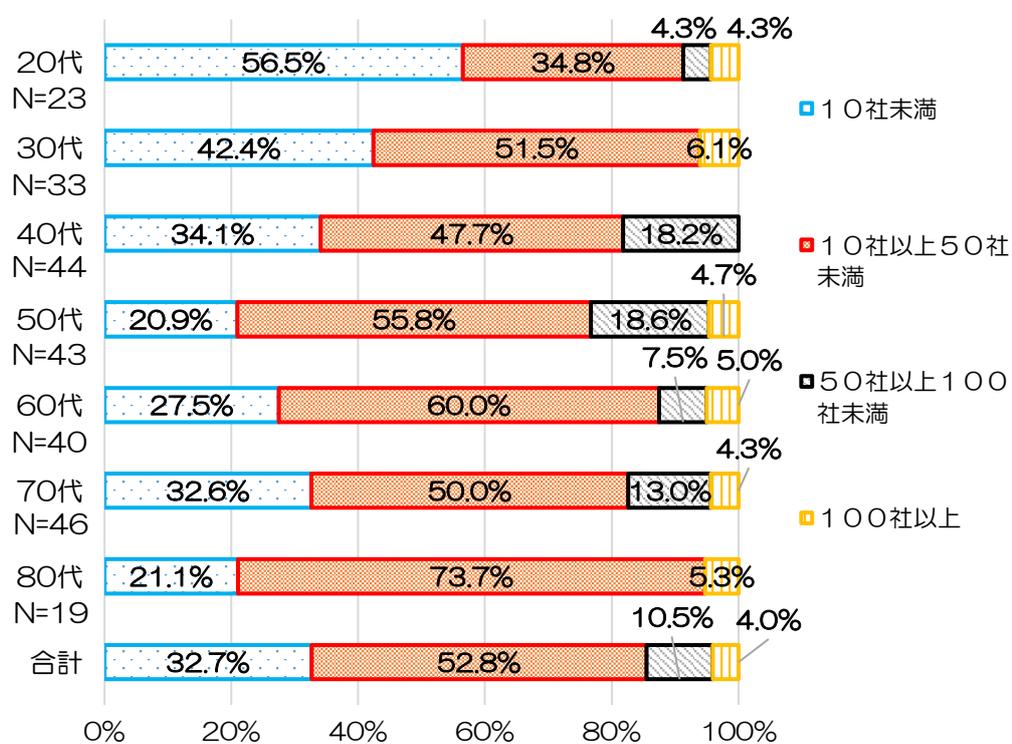
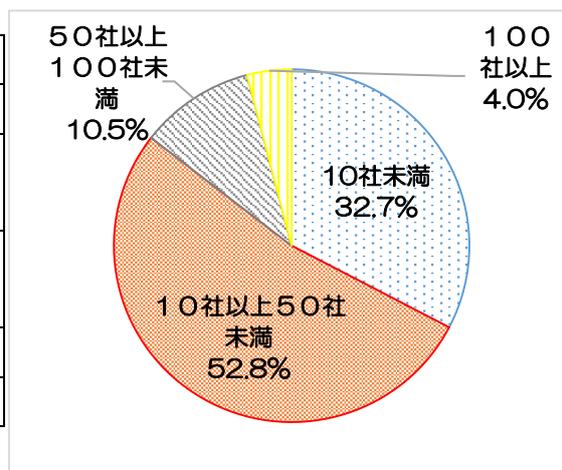


※ご記入いただいた町名をもとに、東西南北に分けて集計しています。

問25 市内企業をいくつ知っていますか。

(当てはまるものを1つ回答)

選択肢	回答者数	割合
10社未満	81人	32.7%
10社以上 50社未満	131人	52.8%
50社以上 100社未満	26人	10.5%
100社以上	10人	4.0%
合計	248人	100.0%

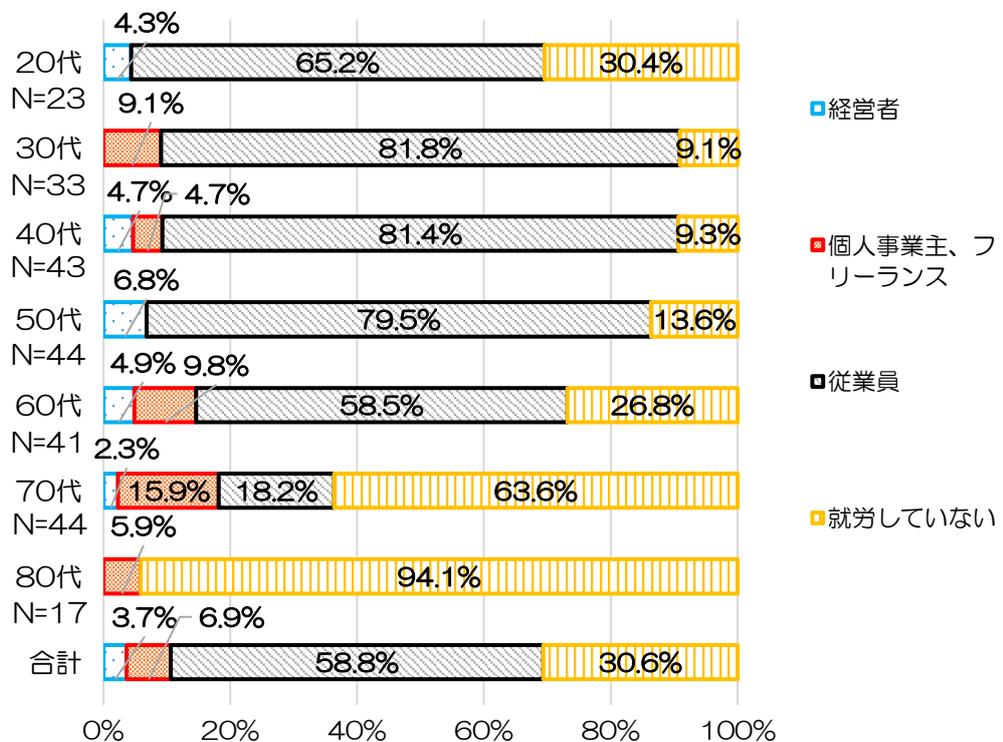
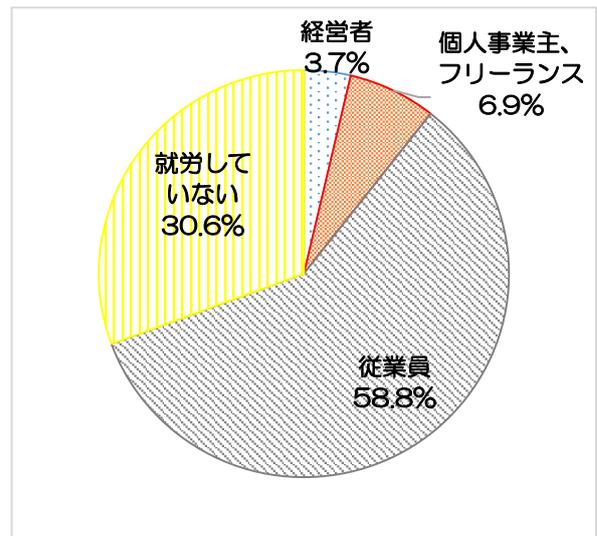


20代における半数以上の人及び30代における42.4%の人が「10社未満」と回答しており、市内企業の情報が若い方へ十分に伝わっていないことがわかりました。

問26 現在の主な収入源となっている就業形態は何ですか。

(当てはまるものを1つ回答)

選択肢	回答者数	割合
経営者	9人	3.7%
個人事業主、フリーランス	17人	6.9%
従業員	144人	58.8%
就労していない	75人	30.6%
合計	245人	100.0%



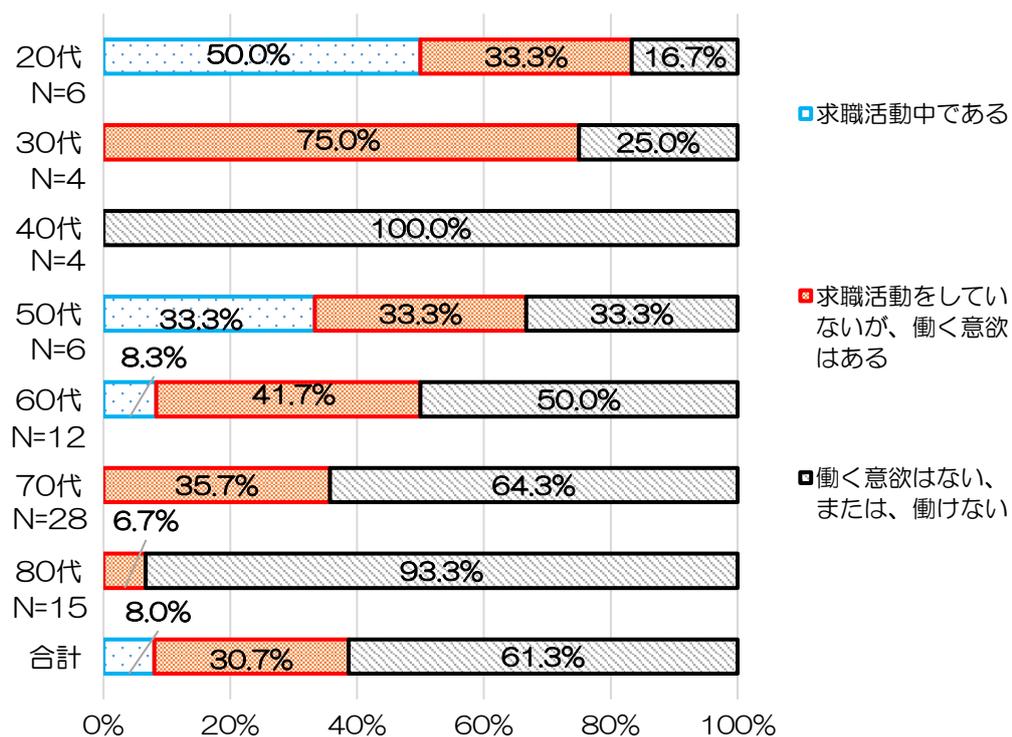
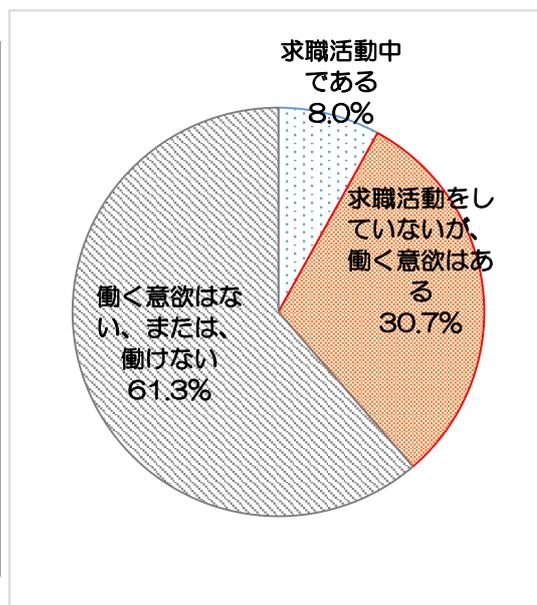
30代から40代において、約10%の人が「就労していない」状況であることがわかりました

70代において、36.2%の人が就労されていることがわかりました。

また、70代までは、年齢構成が上がるにつれて、「経営者」「個人事業主、フリーランス」を合算した割合がおおよそ増えていくこともわかりました。

問27 「問26」で「4 就労していない」を選んだ方に質問です。
 自身の求職活動状況について、近いものは何ですか。
 (当てはまるものを1つ回答)

選択肢	回答者数	割合
求職活動中である	6人	8.0%
求職活動をしていないが、働く意欲はある	23人	30.7%
働く意欲はない、または、働けない	46人	61.3%
合計	75人	100.0%

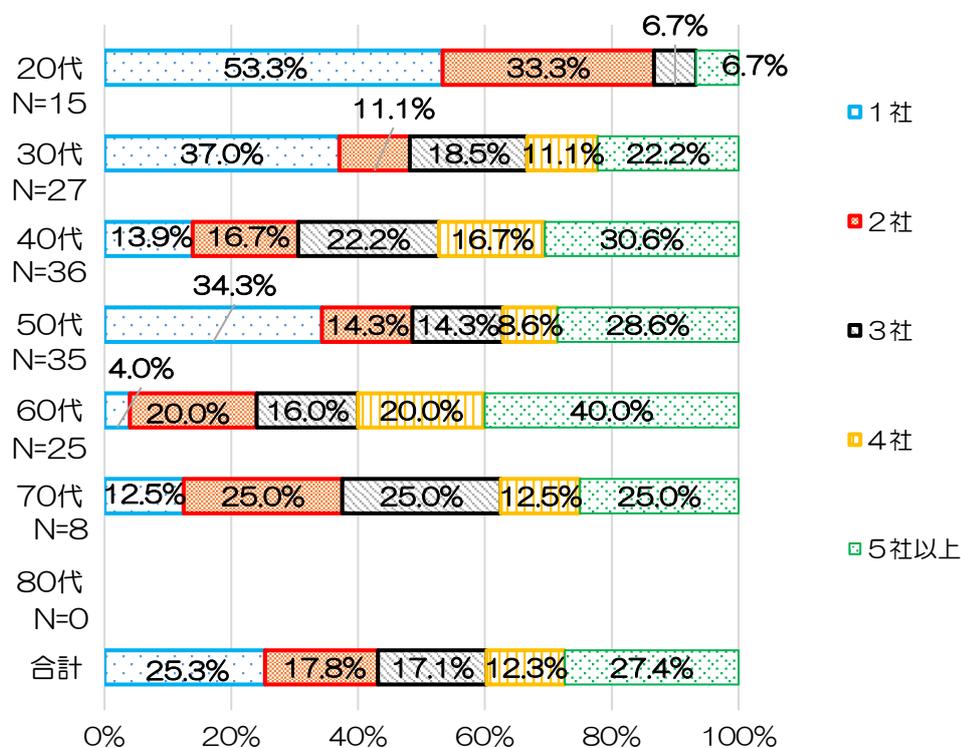
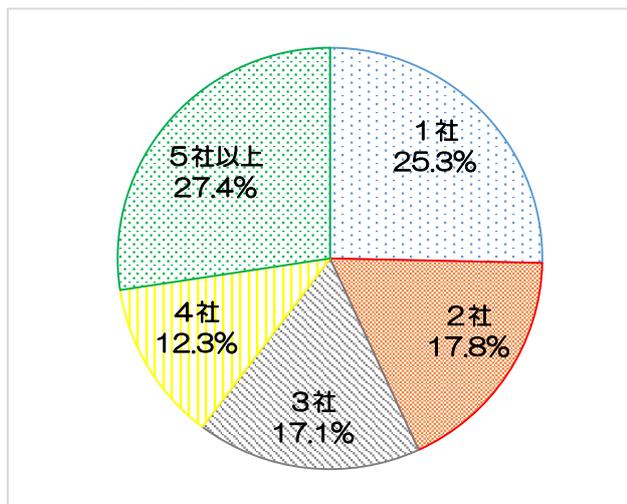


「就労していない」と回答した人のうち、30.7%の方が「求職活動をしていないが、働く意欲がある」として、潜在的な労働意欲のある人がいることがわかりました。

問28 「問26」で「3 従業員」を選ばれた方に質問です。現在の就労先は何社目ですか。なお、自営業も1社とカウントください。

(当てはまるものを1つ回答)

選択肢	回答者数	割合
1社	37人	25.3%
2社	26人	17.8%
3社	25人	17.1%
4社	18人	12.3%
5社以上	40人	27.4%
合計	146人	100.0%



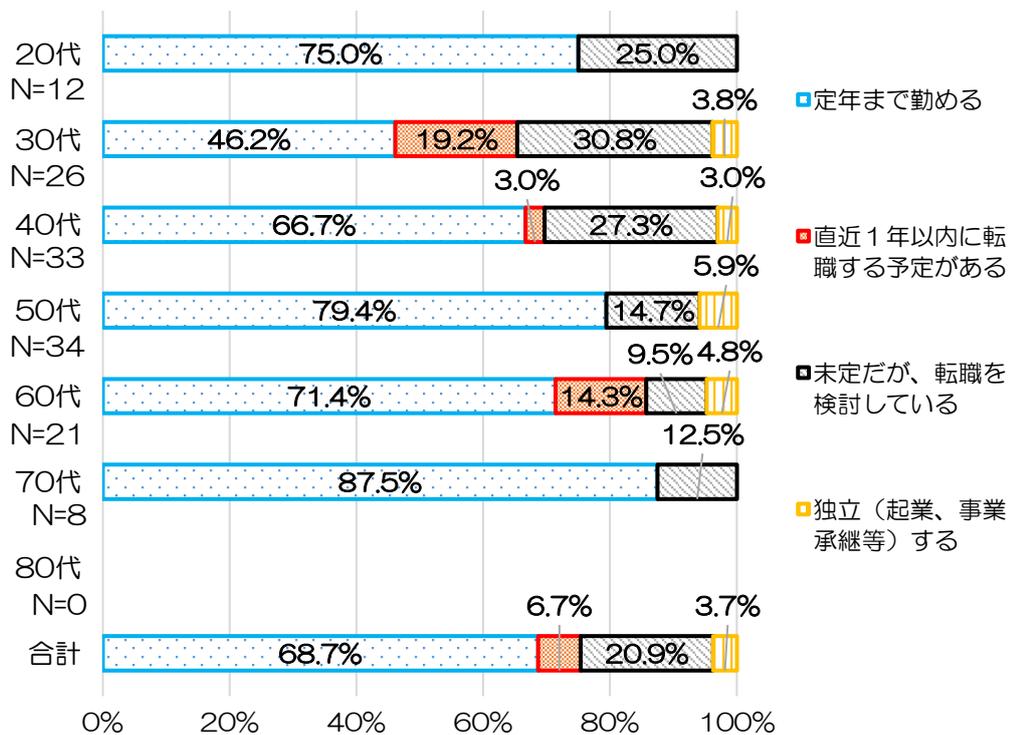
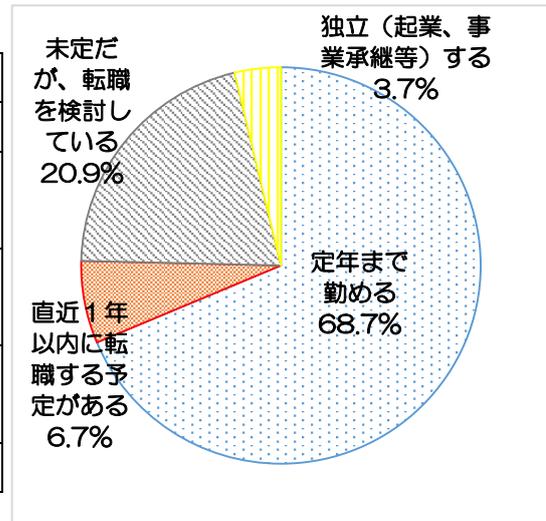
全体で見ても約75%の人が「2社」以上と回答していることから、転職経験のある人の割合が多い状況であることがわかりました。

また、50代までの年齢構成において、40代の86.2%の人が「2社」以上と回答していることから、ほかの年代と比較して、より転職経験のある人の割合が多い年代であることがわかりました。

問29「問26」で「3 従業員」を選ばれた方に質問です。今後のキャリアプランは何ですか。

(当てはまるものを1つ回答)

選択肢	回答者数	割合
定年まで勤める	92人	68.7%
直近1年以内に転職する予定がある	9人	6.7%
未定だが、転職を検討している	28人	20.9%
独立（起業、事業承継等）する	5人	3.7%
合計	134人	100.0%



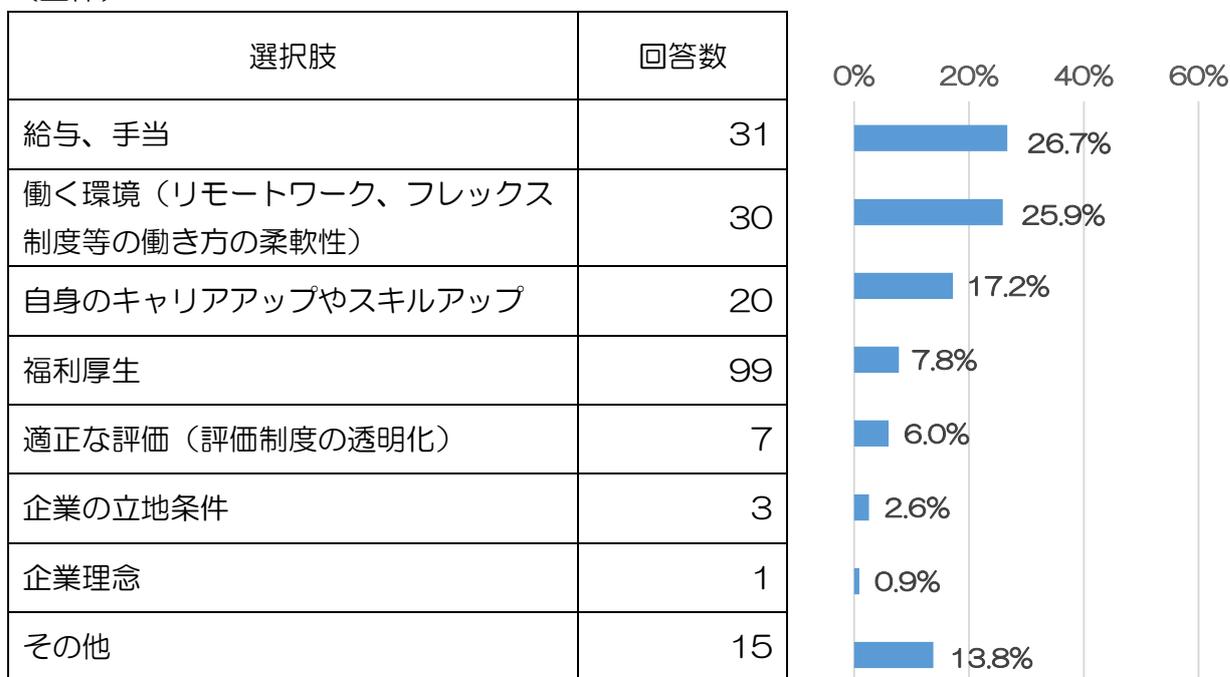
全体で見ても約70%の人が「定年まで勤める」と回答していることから、現に勤められている企業で継続して働く意向の方が多く状況であることがわかりました。

また、30代において、約半数の方が「直近1年以内に転職する予定がある」「未定だが、転職を検討している」と回答していることから、転職の意識が特に高い年代であることがわかりました。

問 30 「問 29」で「2 直近1年以内に転職する予定がある」「3 未定だが、転職を検討している」「4 独立（起業、事業承継等）する」を選ばれた方に質問です。回答に至った基準は何ですか。

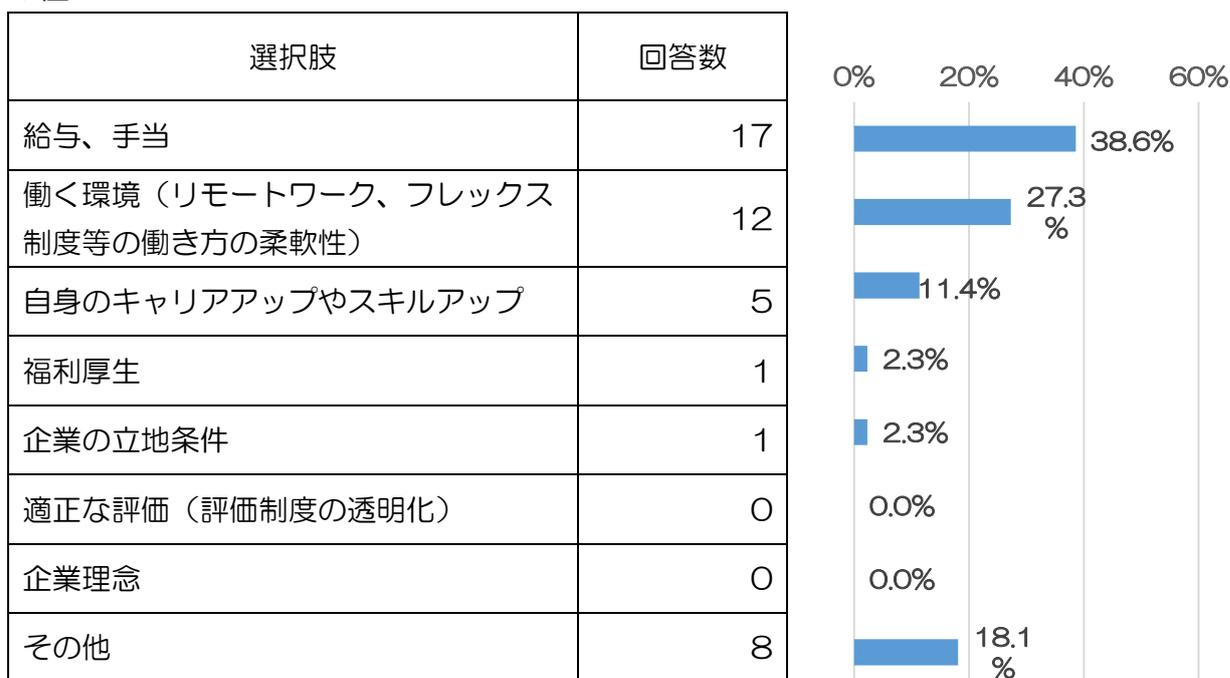
（選択肢の中から当てはまるものを3つ以内で選択肢し、1～3位までの順位を数字で記入）

（全体）



（回答者数 44 人、有効回答 116）

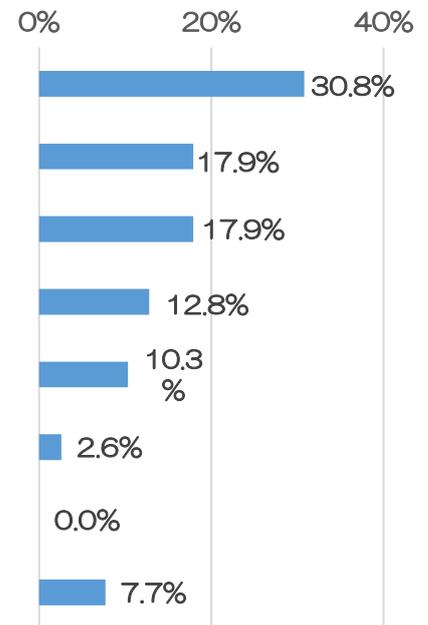
1 位



（無回答 0 人）

2位

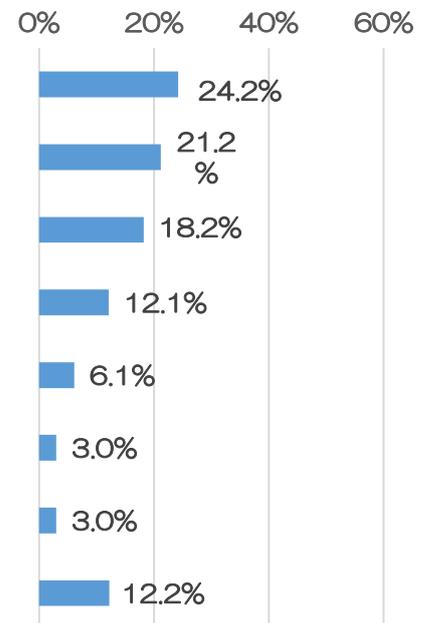
選択肢	回答数
働く環境（リモートワーク、フレックス制度等の働き方の柔軟性）	12
給与、手当	7
自身のキャリアアップやスキルアップ	7
適正な評価（評価制度の透明化）	5
福利厚生	4
企業の立地条件	1
企業理念	0
その他	3



（無回答0人）

3位

選択肢	回答数
自身のキャリアアップやスキルアップ	8
給与、手当	7
働く環境（リモートワーク、フレックス制度等の働き方の柔軟性）	6
福利厚生	4
適正な評価（評価制度の透明化）	2
企業の立地条件	1
企業理念	1
その他	4



（無回答0人）

※「その他」の意見

- ほかの業種も経験してみたい
- ワークライフバランス
- 引っ越し予定
- 働く環境（人間関係など）
- 自己研究開発テーマの実用化実施
- 企業風土 など

基準として、待遇に係る「給与、手当」「働く環境（リモートワーク、フレックス制度等の働き方の柔軟性）」に次いで、「自身のキャリアアップやスキルアップ」に比重を置いている人が多いことがわかりました。

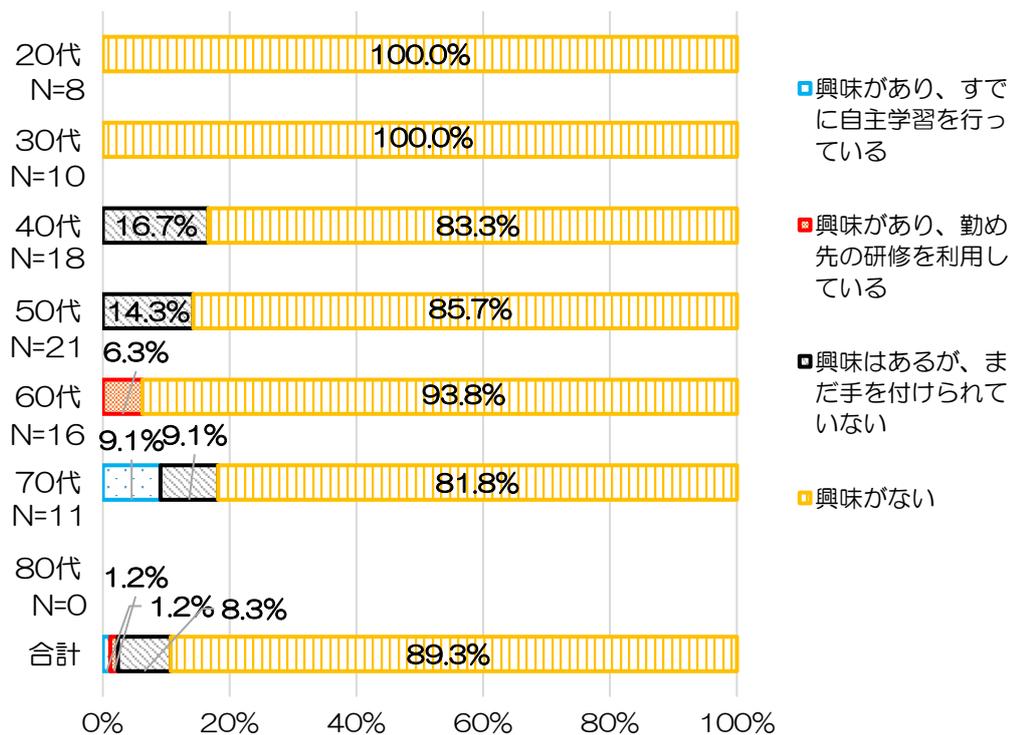
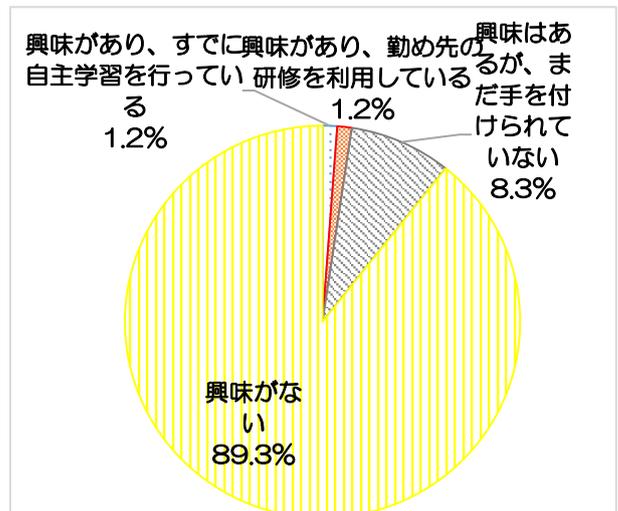
問 31 「問 26」で「3 従業員」、または「問 27」で「1 求職活動中である」または「2 求職活動をしていないが、働く意欲はある」を選ばれた方に質問です。

リスキリングについての興味及び現状に近いものは何ですか。

(当てはまるものを1つ回答)

※リスキリング：職業能力の再開発、再教育のこと

選択肢	回答者数	割合
興味があり、すでに自主学習を行っている	1人	1.2%
興味があり、勤め先の研修を利用している	1人	1.2%
興味はあるが、まだ手を付けられていない	7人	8.3%
興味がない	75人	89.3%
合計	84人	100.0%

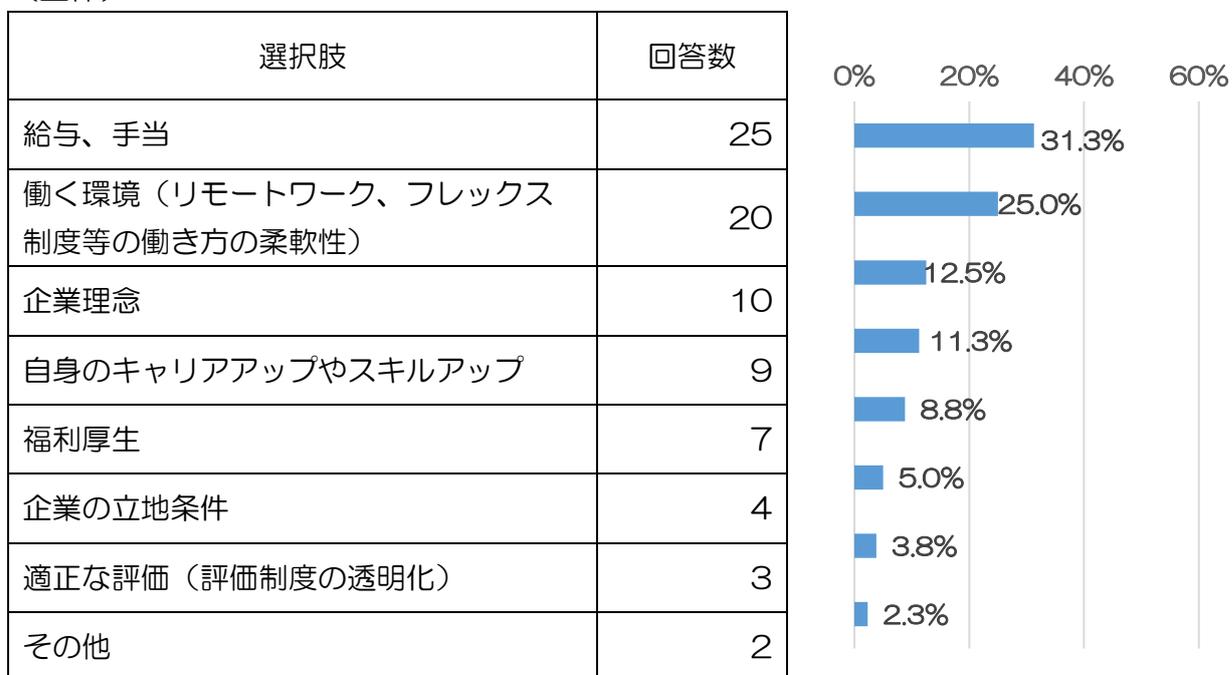


20代及び30代においては、リスキリングに「興味がない」との回答がすべてを占める一方で、40代及び50代においては、「興味があるが、まだ手を付けられていない」との回答が約15%に上り、60代と70代においては、実際に学習を行っている方がいることがわかりました。

問 32 「問 27」で「1 求職活動中である」または「2 求職活動をしていないが、働く意欲はある」を選ばれた方に質問です。求職活動を行う上で、大切にしている基準は何ですか。

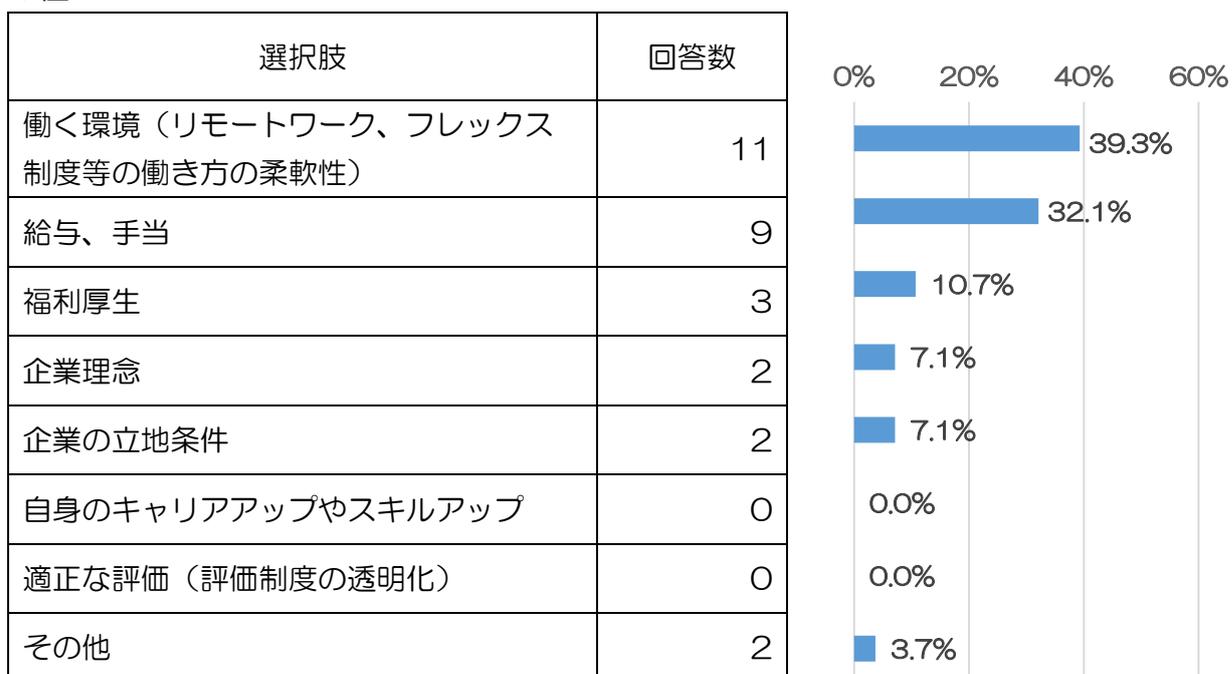
(選択肢の中から当てはまるものを3つ以内で選択肢し、1~3位までの順位を数字で記入)

(全体)



(回答者数 28 人、有効回答 80)

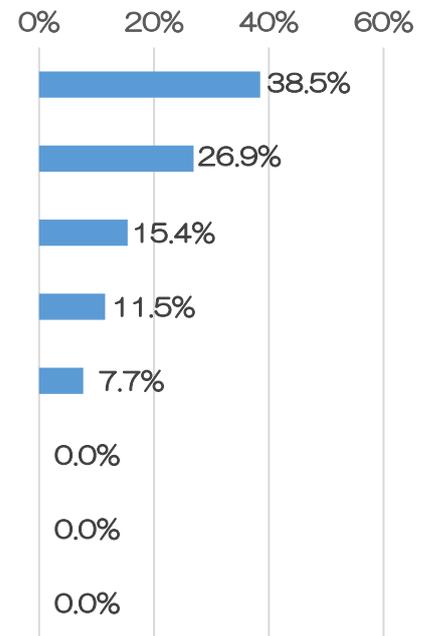
1 位



(無回答 3 人)

2位

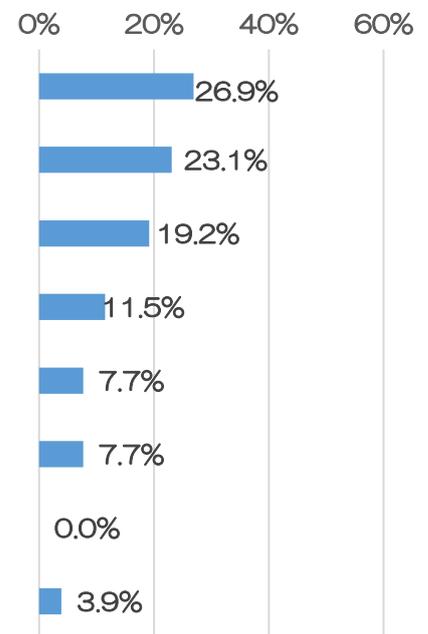
選択肢	回答数
給与、手当	10
働く環境（リモートワーク、フレックス制度等の働き方の柔軟性）	7
福利厚生	4
企業理念	3
自身のキャリアアップやスキルアップ	2
企業の立地条件	0
適正な評価（評価制度の透明化）	0
その他	0



（無回答4人）

3位

選択肢	回答数
自身のキャリアアップやスキルアップ	7
給与、手当	6
企業理念	5
適正な評価（評価制度の透明化）	3
働く環境（リモートワーク、フレックス制度等の働き方の柔軟性）	2
企業の立地条件	2
福利厚生	0
その他	1



（無回答4人）

※「その他」の意見

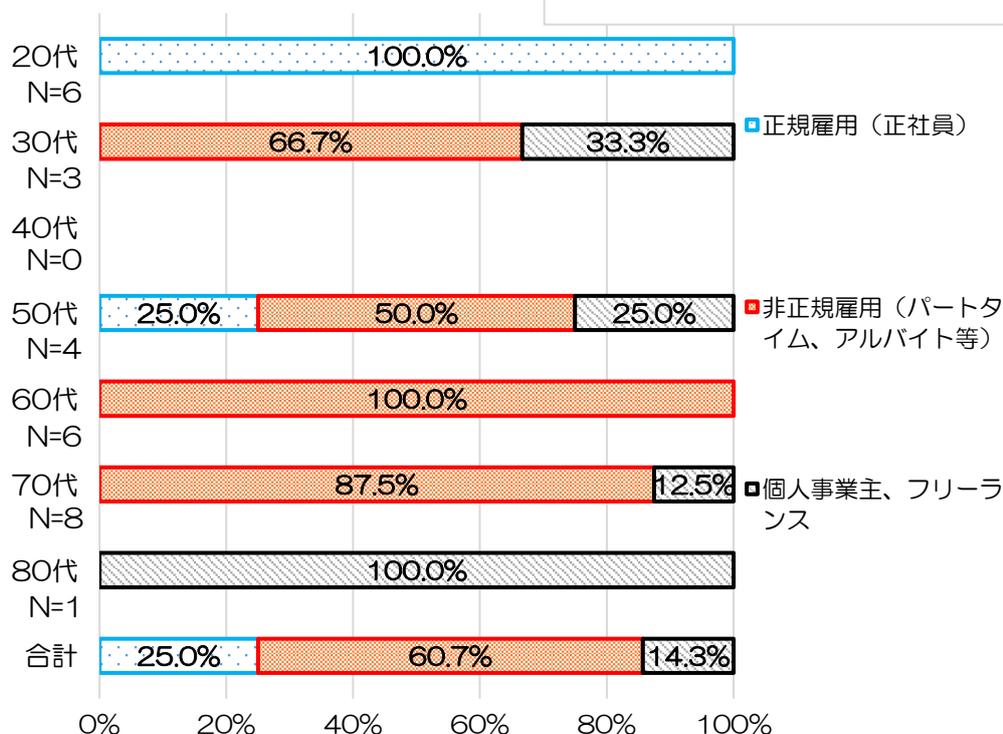
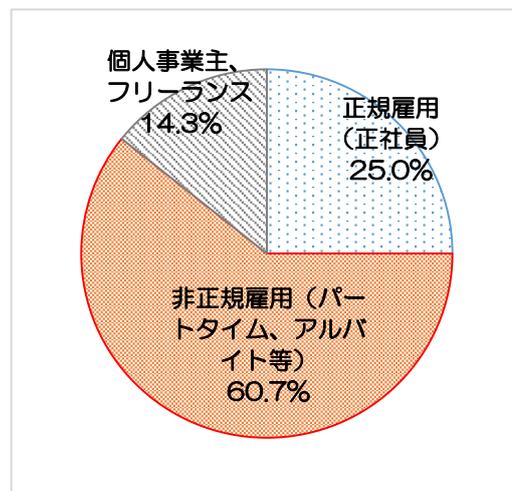
- 自営業
- 開業準備

問30に対して、おおむね同じ傾向の順位ではあるものの、「企業理念」を大切にすると回答した人が多くなったことから、「企業理念」については、転職活動時より求職活動時に重要視されることがわかりました。

問33 「問27」で「1 求職活動中である」または「2 求職活動をしていないが、働く意欲はある」と回答した方に質問です。

希望する就労形態は何ですか。また、その理由を記入してください。

選択肢	回答者数	割合
正規雇用（正社員）	7人	25.0%
非正規雇用（パートタイム、アルバイト等）	17人	60.7%
個人事業主、フリーランス	4人	14.3%
合計	28人	100.0%



※希望理由

（正規雇用）

- ・非正規よりも責任は重いが安定感があり、個人やフリーランスなどスキルを持っていないため
 - ・公立小学校教員になりたいという目標がある
非常勤講師ではなく、学級担任をしたいから
 - ・非正規より給料が高いから
- など

(非正規雇用)

- 社会とのつながりが少しでもあった方が良いため
- 年令的に正社員は難しい
- 自分の時間をある程度確保したい
- 子育てしながらだし、家事もあるのでフルタイムはきついから など

(個人事業主、フリーランス)

- 通常の雇用年金を超えているため など

20代の方において、「正規雇用」を希望すると回答された方がすべてを占める一方で、ほかの年代の方においては、必ずしも「正規雇用」を希望していない現状を把握することができました。

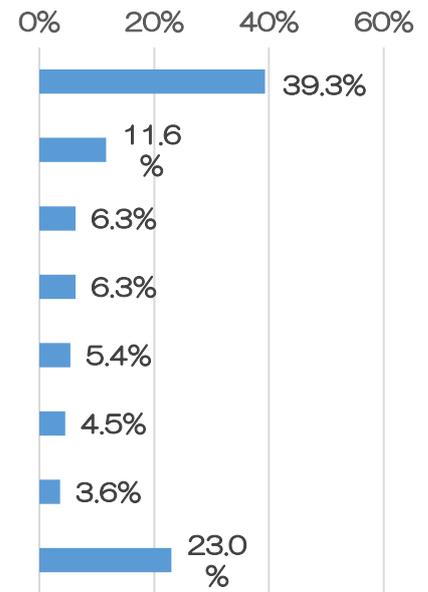
問34 「問27」で「2 求職活動をしていないが、働く意欲はある」または「3 働く意欲はない」と回答した方に質問です。

求職活動をしていない理由は何ですか。

(選択肢の中から当てはまるものを3つ以内で選択肢し、1~3位までの順位を数字で記入)

(全体)

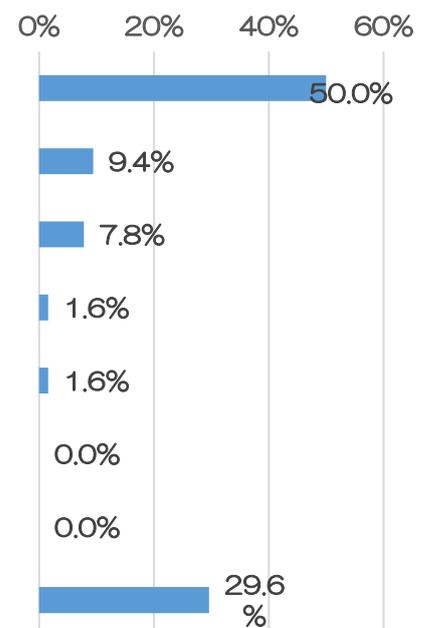
選択肢	回答数
健康上の理由(障害、持病、高齢等)	44
就労条件の不一致(働く環境等)	13
家庭環境(育児)	7
就労条件の不一致(自分の能力が活かさない)	7
就労条件の不一致(給与)	6
家庭環境(介護)	5
就職先がなかなか決まらない	4
その他	26



(回答者数64人、有効回答112)

1位

選択肢	回答数
健康上の理由(障害、持病、高齢等)	32
就労条件の不一致(働く環境等)	6
家庭環境(育児)	5
就労条件の不一致(自分の能力が活かさない)	1
就労条件の不一致(給与)	1
家庭環境(介護)	0
就職先がなかなか決まらない	0
その他	19

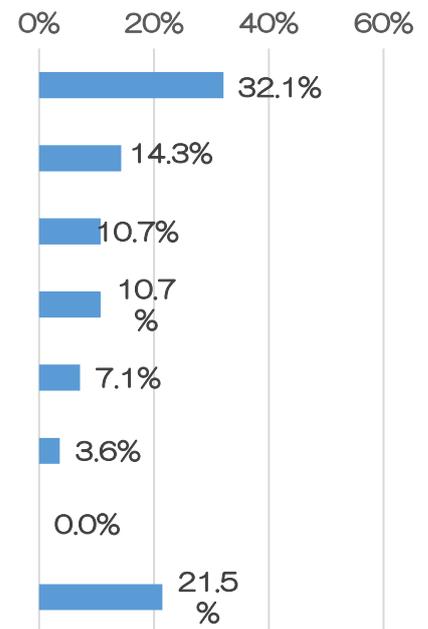


(無回答8人)

2位

選択肢	回答数
健康上の理由（障害、持病、高齢等）	32
家庭環境（介護）	6
就労条件の不一致（給与）	5
就労条件の不一致 （自分の能力が活かさない）	1
就労条件の不一致（働く環境等）	1
就職先がなかなか決まらない	0
家庭環境（育児）	0
その他	19

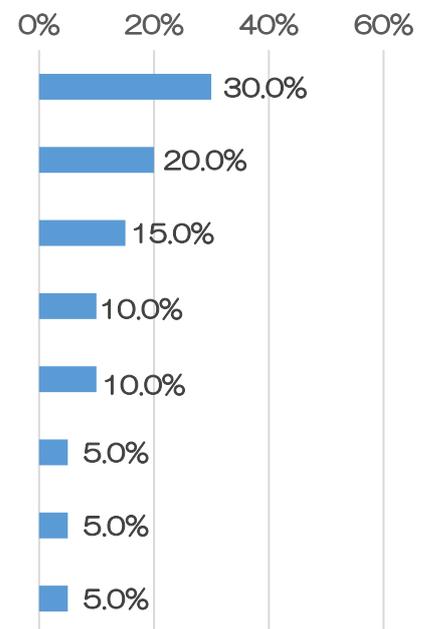
（無回答9人）



3位

選択肢	回答数
就労条件の不一致（働く環境等）	6
就労条件の不一致 （自分の能力が活かさない）	4
健康上の理由（障害、持病、高齢等）	3
就労条件の不一致（給与）	2
就職先がなかなか決まらない	2
家庭環境（育児）	1
家庭環境（介護）	1
その他	1

（無回答8人）



※「その他」の意見

- 学生で、大学院進学を目指しているから
- 保育園入園予定時期に合わせて就職活動を開始したいため
- 働く必要がない。自分のおこづかいは、フリマアプリで作っている額で充分。主人の仕事に合わせたライフスタイルなので、就労すると色々と不都合が生じる
- 主人がまだ働いており、主人の年金と私自身の年金で生活ができており働く必要がありません
- これから考える為今の所決まっていない
- 金生活ですが、現状に満足しています
- 自己啓発中、奉仕活動（無給）に忙しい など

「健康上の理由（障害、持病、高齢等）」と回答された方が約 40%となる一方、「就労条件の不一致」と回答された方が合わせて約 10%おられることから、アンマッチにより求職活動をしていない方がおられる現状を把握できました。